

交流協会設立40周年を祝して

外務大臣 岸田文雄



交流協会が設立40周年を迎えられたことに対し、心よりお祝い申し上げます。

台湾は、我が国との間で緊密な経済関係と人的往来を有する重要なパートナーです。世論調査によれば、日本と台湾のいずれにおいても、実に10人に7人が相手側に親しみを抱いているとの結果が示されており、東日本大震災時の台湾からの格別の支援やそれに対する日本側の感謝を示す数々の活動はこれを裏付けるものです。日台間にこれほど深い友情と固い絆が根付いていることは、極めて得難いことであります。これは、交流協会が、維持会員の皆様をはじめとする多くの関係者の御支持を得て、我が国と台湾を繋ぐ懸け橋として、40年間にわたり日台関係を支えてこられた成果と言えます。そして、このような日台間の深い友情と信頼関係を支えているのは、民主、自由、平和といった基本的価値観の共有であり、台湾の人々が、この40年間に目覚ましい経済発展と政治の民主化を実現し、公平・公正な政治システムを根付かせてきたことは、これらの基本的価値を共有する我が国としても、誠に喜ばしいことと評価しています。

我が国及び地域、世界の平和、安定、繁栄を維持・促進していくこと、そして、そのために近隣諸国・地域との関係を発展・強化させていくことは、我が国の外交政策の重要な柱です。台湾海峡の平和と安定は地域と世界にとって極めて重要であり、かかる観点から、我が国は、近年、兩岸間の対話が間断なく続けられていることを歓迎しています。また、近年、交流協会とその台湾側カウンターパートである亜東関係協会との間で、経済分野を中心とする様々な互惠協力の枠組みが作られ、日台間の実務関係が着実に発展してきていることは誠に喜ばしい限りです。政府としては、日台間の協力関係が引き続き着実に発展していくよう期待しており、交流協会の活動に対して積極的に支援と協力を与えてまいります。

「四十にして惑わず」と申しますが、設立40周年を迎えた交流協会が、これまでに培われてきた日台間の良好な国民感情と緊密な実務関係を礎として、台湾側各界との相互信頼を引き続き強化し、日台間の各種協力を推進し、我が国と台湾の人々との間の友情が、時代を超え、世代を超えて、いつまでも瑞々しい輝きを放ち続けるよう強く願っています。